

# autoload の話

田中哲

2019-04-20

RubyKaigi AfterParty

# autoload ってご存知ですか？

- `autoload :Foo, "foo"`
- 定数 `Foo` を参照したときに自動的に `require "foo"` してくれる機能

# プログラムを高速化する最高の方法

- 不要な処理をしないのがいちばん速い
- 不要かどうかの判断コストが無視できる場合

# autoload

- 本当に必要になるまでロードしない
- プログラムを高速化する最高の方法のひとつ
- autoload サイコー

# autoload は危険？

- matz は multi thread での autoload は根本的に危険と主張している
- そのうち消したいと昔から言っている
- autoload サイター
- が、Ruby 3.0 で消すのは断念した模様

# Rails

- Rails は autoload を使わず、const\_missing を使っている
- matz が autoload を消すと言うから
- でも今度のバージョンでは autoload を使うらしい (Zeitwerk)

# autoload は危険？

- marcandre: autoload\_relative を加えたい [Feature#15330]
- matz: autoload の非決定性は嫌い。#10892, #11384, #12688 とか問題が発生してて直せてないし。互換性で消せないにしても、便利にするのは嫌
- eregon: どれも直ってる感じなんだけど？

なんか、根拠がはっきりしてない感じ？

# single thread で autoload

- 定数 Foo を参照したときに require 'foo' してから Foo を参照する
- とくに問題ない
- foo.rb で定義されるブツが、必ず定数 Foo を経由してアクセスされるなら

# 素朴な動作

main.rb:

```
autoload :Foo, "foo" # 定数 Foo を autoload 用に仕掛ける
Foo # 定数参照で仕掛けが発火:
  # 仕掛けを外して require し、Foo の参照をやり直す
```

foo.rb:

```
class Foo # 定数 Foo を定義
  def initialize(v)
  end
end
```

# multi thread で autoload

- 複数のスレッドで Foo を参照する
- autoload :Foo, "foo"  
t1 = Thread.new { Foo.new(0) }  
t2 = Thread.new { Foo.new(0) }

# context switch

- クラス定義の途中で thread が context switch するかもしれない

foo.rb:

```
# context switch
class Foo
  # context switch
  def initialize(v)
  end
  # context switch
end
# context switch
```

# 危険な context switch

- クラス定義が終わる前に context switch して、不完全な Foo が参照されると危険
- クラス定義が完了してしまえば安全

foo.rb:

```
# dangerous context switch 1
class Foo
  # dangerous context switch 2
  def initialize(v)
  end
end
```

# race condition 1

- t1 が Foo を参照して require している途中、Foo の定義前 (context switch 1) で t2 が Foo を参照する
- t2 が参照したとき、Foo の autoload の仕掛けは外されているので Foo は単に存在しない状態であり、uninitialized constant になる

# race condition 2

- t1 が Foo を参照して require している途中、Foo の定義後、initialize メソッドの定義前 (context switch 2) に t2 が Foo を参照する
- t2 が参照したとき、Foo は存在する (uninitialized constant にはならない)
- でも、Foo#initialize が存在しないので BasicObject#initialize が呼ばれ、Foo.new(0) は wrong number of arguments になる

# どうすればいい？ ロックすればいい

- ロックがなければどうしようもない
- ロックすれば動くだろう

# ロックするには

- 定数 `Foo` が定義されていても、メソッドは足りないかもしれない
- `foo.rb` 全体を読み終われば `Foo` は完成していると想定
- `Foo` の参照で `autoload` の仕掛けが動き始めてから、`foo.rb` の実行が終わるまで、他のスレッドからの `Foo` の参照はブロック
- `Foo` が定義されても、`foo.rb` を読み終わるまではダメ
- `const_missing` で実現するのが無理筋なのがわかる

# ちゃんとロックしてますか？

- race condition 1 : Ruby 1.9.1 からは大丈夫ぽい
- race condition 2 : Ruby 2.0.0 からは大丈夫ぽい

# autoload と Thread の導入時期

- 1995-12-21 Ruby 0.95: autoload
- 1996-12-24 Ruby 0.99.4-961224: Thread

12 年経過

- 2009-01-30 Ruby 1.9.1p0: race condition 1 解決
- 2013-02-24 Ruby 2.0.0p0: race condition 2 解決

all-ruby サイコー

# なんで 12 年もかかったの？

たぶん昔はまともな lock がなかったから  
処理系内部でつかえるまともな lock は YARV 以降

- 1995-12-21 Ruby 0.95 autoload
- 1996-12-24 Ruby 0.99.4-961224: Thread
- 2007-12-25 Ruby 1.9.0-0: YARV
- 2009-01-30 Ruby 1.9.1p0 race condition 1 解決
- 2013-02-24 Ruby 2.0.0p0 race condition 2 解決

# matz に尋ねてみた

multi thread な autoload が根本的に危険っていうの、昔はまともなロックがなかったからなんじゃないの？

# 反応

覚えてない感じ  
否定も肯定もされなかった

# 個人的邪推

ロックがない状況で検討した結果の  
根本的に危険という結論を、  
検討の内容を忘れて  
引きずっているだけなのではないか？

もし matz が autoload に  
肯定的になれば現状で Happy?

残念ながら No

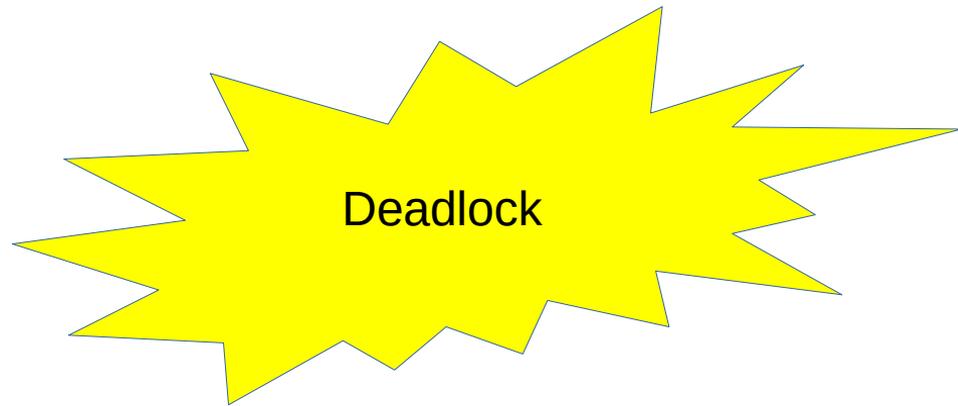
# 相互参照による deadlock

## [Bug #15598]

```
a.rb: class A
  def a1() end
  p [:a, A, B] # refer B
  def a2() end
end
```

```
b.rb: class B
  def b1() end
  p [:b, A, B] # refer A
  def b2() end
end
```

```
base_ab.rb: autoload :A, "./a.rb"
            autoload :B, "./b.rb"
            t1 = Thread.new { A }
            t2 = Thread.new { B }
```



# なんで相互参照が deadlock になる？

- ロックが file 単位だから (feature 単位かも?)
- ロック順
  - t1: A → B の順でロック
  - t2: B → A の順でロック
- 参照関係はファイルの中に散在して書かれている
  - ファイルを実際に読まない参照関係がわからない
  - ファイルを読む前にロックしなければならない
- 適切なロックの順序を決められない

# autoload と require の混用で deadlock [Bug #15599]

```
a.rb: class A  
      def a1() end  
    end
```

```
base_r.rb: autoload :A, './a'  
          t1 = Thread.new { A }  
          t2 = Thread.new { require './a' }
```



# なんで混ぜると deadlock?

- 深い理由はなくて単に考えが足りないだけでは？

# 修正できるか？

たぶん可能

- ロックを粗粒度にすればいい
- file 単位じゃなくて global にする  
つまり global autoload lock
- autoload 対象のライブラリを require するときも global autoload lock をロックする
- なお、すべての require を lock するのはやりすぎ
- require から返ってこないやつがありそう

# もっとある？

- global autoload lock を導入したと仮定
- アプリケーションがロックを使っていると？
  - t1: global autoload lock → app lock の順でロック
  - t2: app lock → global autoload lock の順でロックdeadlock
- まあ、これはさすがに諦めざるをえないのでは

# autoload 関係の機能拡張の可能性

- [Feature #] autoload\_relative: 相対パスで autoload
- autoload されているものを即座にすべて require するメソッド
- [Feature #15777] autoload?
- Zeitwerk の発表でも述べられていた気が

# まとめ

- `const_missing` でやれというのは無理筋
- multi thread で autoload が根本的に危険というのは再考の余地あり（控えめな表現）